

## 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	川崎市黒川青少年野外活動センター	評価対象年度	令和4年度
事業者名	・事業者名 特定非営利活動法人 国際自然大学校 ・代表者名 理事長 佐藤 初雄 ・所在地 東京都狛江市岩戸北4-17-11	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日	所管課	こども未来局青少年支援室

### 2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 13,133人 (令和3年度:9,530人)	②年間延べ利用団体数 623団体 (令和3年度:515団体)		
収支実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>1 収入</p> <p style="text-align: right;">単位:円</p> <p>指定管理料 30,453,703</p> <p>主催事業収入 2,151,175</p> <p>雑収入 1,063</p> <p>補填金 178,741</p> <p>その他収入 2,821,940</p> <hr/> <p>合 計 35,606,622</p> <p>2 支出</p> <p>人件費・賃金 21,372,544</p> <p>光熱水費 1,728,516</p> <p>委託費 2,678,500</p> <p>消耗品費 1,523,416</p> <p>修繕費 216,080</p> <p>報償費 1,205,568</p> <p>その他 4,006,103</p> <hr/> <p>本部繰入額 3,853,215</p> <p>合 計 36,583,942</p> <p>3 差引 -977,320</p> </td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table>		<p>1 収入</p> <p style="text-align: right;">単位:円</p> <p>指定管理料 30,453,703</p> <p>主催事業収入 2,151,175</p> <p>雑収入 1,063</p> <p>補填金 178,741</p> <p>その他収入 2,821,940</p> <hr/> <p>合 計 35,606,622</p> <p>2 支出</p> <p>人件費・賃金 21,372,544</p> <p>光熱水費 1,728,516</p> <p>委託費 2,678,500</p> <p>消耗品費 1,523,416</p> <p>修繕費 216,080</p> <p>報償費 1,205,568</p> <p>その他 4,006,103</p> <hr/> <p>本部繰入額 3,853,215</p> <p>合 計 36,583,942</p> <p>3 差引 -977,320</p>	
<p>1 収入</p> <p style="text-align: right;">単位:円</p> <p>指定管理料 30,453,703</p> <p>主催事業収入 2,151,175</p> <p>雑収入 1,063</p> <p>補填金 178,741</p> <p>その他収入 2,821,940</p> <hr/> <p>合 計 35,606,622</p> <p>2 支出</p> <p>人件費・賃金 21,372,544</p> <p>光熱水費 1,728,516</p> <p>委託費 2,678,500</p> <p>消耗品費 1,523,416</p> <p>修繕費 216,080</p> <p>報償費 1,205,568</p> <p>その他 4,006,103</p> <hr/> <p>本部繰入額 3,853,215</p> <p>合 計 36,583,942</p> <p>3 差引 -977,320</p>				
サービス向上の取組	野外活動に関する知識や技術が豊富な職員が指導にあたり、満足度の高い体験や世代間交流、地域交流の場を作っている。また、事業実施後には反省会を開き、改善点を指導マニュアルに反映させており、事業の充実を図っている。			

### 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	4	4
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	3	3
	(評価の理由) ・参加者が子どもたちに質の高いプログラムを提供できるようにするために、新規事業として、センターのパッケージプログラムを「研修」として実施する、指導者向けのプログラム「くろかわプログラムマルシェ」を開催した。 ・「あそび力アップ！デイキャンプ」を年3回企画し、毎回キャンセル待ちになるなど、人気の事業となった。多くの方に火起こし等のスキルの習得や、参加した子ども達同士の関係性が構築できる取り組みとなった。 ・感染症対策を講じながら、3年ぶりに地元ボランティアの方々と協力して「自然体験フェスティバル」を実施し、参加者に対するセンターの様々な体験活動の周知につながった。 ・利用者数について、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、主催事業の定員を通常より制限する形で事業を実施する中、昨年度から引き続きキャンセル待ちの繰り上げを行う等の工夫により、主催事業の参加者数の確保を行い、計画に対しては未達であったものの、前年度対比3,000人強の増となった。				
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	3	6
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組がなされているか					
	(評価の理由) ・金銭管理・会計手続について、計画に基づき、毎月の収支状況を本部担当者がチェックするなど、会計処理及び金銭管理のための規則等に準って会計処理及び金銭管理を適切に行っている。 ・効率的・効果的な支出について、計画に基づき、新規に消耗品・備品を購入する時には必ず相見積もりを取った上で購入を進める、窓の開閉や薪ストーブによる保温等を行うなど、計画に基づいて適切に執行されている。				

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	4	8
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	4	8
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・事業の広報については、トピックスやイベント情報等の見やすさを重視して、ウェブサイトのレイアウトを抜本的に変更した。また、毎日のブログ更新やInstagram及びFacebookの紐づけなど、若い方向けの情報発信を積極的に実施した。</li> <li>利用者への対応については、「顔の見える関係づくり」を意識し、活動中の団体等への声掛けを実施した。また、ウェブサイトのリニューアルに伴い、「問い合わせフォーム」への問い合わせ頻度が増えたが、グループウェアを導入し職員同士の情報共有の質の向上を図るなど、接遇の向上に積極的に取り組んだ。</li> <li>学校との連携では、はるひ野小学校の3年生を対象に、里山をテーマとした出張授業を実施し、センターの取組の紹介に加え、実際に施設使用してもらう機会を設け、提供するメニューを工夫した。また、昨年度に引き続き、栗木台小学校への里山授業は継続して実施した。</li> <li>利用者ニーズについては、引き続きGoogleフォームによる意見聴取を実施するとともに、主催事業参加者との新たなコミュニケーションツールとして、「森のようちえん」では「保護者との意見交換ノート」を作成することで、事業後の新鮮な意見を積極的に収集した。</li> </ul>					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な人員配置については、仕様書等に基づき、適正な人員配置を行った。</li> <li>職員の研修体制については、昨年度から導入した、実践的な救命救急法である「メディック・ファースト・エイド(MFA)」の研修に常勤職員全員を参加させたり、コロナ前に受託頻度の高かった冒険教育プログラムのニーズ増を見越して、「プロジェクトアドベンチャーstarter Low Elements研修」を受講させたりすることで、野外活動の振興と普及、利用者の安全に向けて、職員のスキルアップに努めた。</li> <li>個人情報等の取扱については、情報漏洩等のトラブルはなかった。さらに個人情報規程や個人情報ポリシーに従って厳重に管理し、法人に設置する個人情報取扱責任者のもと、個人情報取扱担当者を選任して職員への教育と訓練を行っている。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
		利用者の安全確保			
	防犯対策	施設等の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
災害発生時のマニュアル等が整備されているか					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備の保守管理について、日常的な清掃及び施設点検は計画通り実施しており、点検で気になった部分については、都度修繕等に対応している。また、敷地内のどんぐり山は未舗装であり、風雨で土が飛ばされ根が露出することがあるため、日々職員が状況を確認し、必要に応じて、清掃時にたまった土を活用し、土留柵を作り土入れを行う等の対策を実施した。ナラ枯れにより落枝の頻度が高まった中で、職員による点検や立入制限、枝の剪定等も随時実施した。</li> <li>利用者の安全確保については、引き続きリスクマネージャー(安全管理者)を設置し、施設運営におけるリスク管理の担当者として、他施設における事故トラブル事例の収集やリスクの予測、事故防止対策などの安全管理対策に当たった。また、強風により落枝等の危険が生じた樹木について、市への報告の上、速やかに剪定・伐採を実施するなど、安全確保に向けた対策を適切に実施した。</li> <li>防犯対策については、本部リスクマネージャーからの情報を適時、職員に共有し、本部と連携して職員間の情報共有に努めた。</li> <li>災害への対応については、消防計画に基づき避難訓練を実施した。</li> </ul>					

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

#### 4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

- A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、  
 C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、  
 E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

市内で野外体験ができる貴重な場として、ウィズコロナの状況下で感染症対策を適切に講じながら、事業を実施した。地域と連携し、身近に野外活動を体験できる環境づくりを進めていくという点が課題であるが、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から様々な制限がある中で、ウェブ申込管理を活用してキャンセル待ちの案内を実施することで、少しでも多くの方が自然を体験できる機会を提供したり、コロナによる生活様式の変容で、自宅で過ごす時間が長くなった傾向がある中で、ウェブサイトの充実やSNSの活用などオンラインによる広報により広く施設の認知度を高めたりする取組を推進することは、ウィズコロナに合わせた野外体験施設の役割を果たしているものと評価できる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

都市において貴重な自然が色濃く残る施設であり、多くの市民が野外活動を体験する貴重な場でもある一方で、昨今のナラ枯れや温暖化等による災害の激化に対し、市民が安心して利用することができるよう、安全な施設運営を追求していくことが重要である。また、アフターコロナにおいても、子どもの体験機会を創出するという観点から、事業の推進に加え、指導者層への養成講座の充実や他の自然体験学習ができる地域の広場・公園・施設・森林等との連携の中心となり、野外体験活動が可能な場所を拡充する役割も担うことが必要であると考える。